

「がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ」 開催要綱

1. 趣旨

我が国では、全ての国民が全国どこにいても質の高い医療が等しく受けられるよう、がん診療連携拠点病院等（以下「拠点病院等」という。）の整備が進められている。

第3期のがん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）においては、標準的な手術療法、放射線療法、薬物療法等、均てん化が必要な取組に関しては、引き続き拠点病院等を中心とした取組を進める一方で、一部の放射線治療等については、地域の状況に十分配慮した上で、診療機能の集中、機能分担、医療機器の適正配置など、一定の集約化のあり方について検討するとされている。

がん医療提供体制をさらに充実させるため、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の下に本ワーキンググループを開催し、「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」の見直しについて検討し、その検討結果を同検討会に報告することとする。

2. 検討事項

- (1) がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直し
- (2) その他必要な事項

3. その他

- (1) 本ワーキンググループは厚生労働省健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本ワーキンググループに座長を置く。座長は、ワーキンググループ構成員の中から、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」座長が指名する。
- (3) 本ワーキンググループには、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本ワーキンググループは、原則として公開とする。
- (5) 本ワーキンググループの庶務は、健康局がん・疾病対策課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本ワーキンググループの開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。
- (7) 本ワーキンググループで得られた成果は、「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」に報告する。

「がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ」
構成員名簿

大西 洋	国立大学法人山梨大学医学部 放射線医学講座 教授
久保 祐子	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 部長
小寺 泰弘	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授
鈴木 直	学校法人聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
田村 恵子	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座緩和ケア看護学分野 教授
津端 由佳里	国立大学法人島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 診療教授
藤 也寸志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
早坂 由美子	公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 理事
東 尚弘	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長
増田 しのぶ	学校法人日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野 教授
増田 昌人	国立大学法人琉球大学病院がんセンター センター長/診療教授
松本 陽子	NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長